

# 議 会 報 告 第 51 号



(ホームページもご覧ください <http://www.ojima-shinichi.com/>)

筑西市下野殿 801-1 TEL0296 (24) 8951

市議会議員 小島 信一

明けましておめでとうございます。本年もよろしく申し上げます。



## 12月定例会より 報告 (令和5年第4回定例会)

令和6年1月15日発行

### ◎債務負担行為補正が可決—145事業

地方自治法の定めで、予算化されていない次年度の事業については委託契約をすることはできません。しかし新年度早々から執行しなければならない業務は現実には前年度内に契約する必要があります。これを可能にするため「債務負担行為」(予算を約束)があります。

・今年の特徴・昨年は76事業で今年は倍増している。

——主な事業——

・医師派遣のための寄付講座・・・2億6500万円

筑波大学、日本医科大学、自治医

科大学へ医師派遣要請のため

筑波大学・・・7500万円(3年分)

日本医科大学・4500万円(単年分)

自治医科大学・1億4500万円(5年分)



・放課後児童クラブ委託費・・・2億6700万円

・一般ゴミ(家庭ごみ)収集委託・・・1億5000万円

・資源ゴミ収集運搬委託事業・・・8400万円

・定期予防接種個別接種委託・・・2億3300万円

・ふるさと納税返礼品・・・2億9400万円

・明野五葉学園スクールバス運行 令和

6年度から5年間・6億9450万円

(9月定例会で可決)



・下館中学校スクールバス(単年度)

・・・2000万円

\*\*\*\*\*

○目的・効果が不透明ということで削除されたもの

・公共施設照明LED化事業・・・6億2000万円

常任委員会の審議では、昨年実施した屋外照明のLED化事業の成果が確認できてから予算化すべきという意見と債務負担ではなく3月の本予算で上げるべきという意見に押され削除となった。



この事業は6億2000万円の公共工事を12年間のリース契約で行うもの。事実上、請負工事費の分割払い。当然入札には議会審議が必要だが、自治法上リース契約となると議会審議が不要となる。私はこれを問題視し反対。

### ◎議決された主な議案

#### ○あけの元気館の指定管理者が決定

・日本スポーツ振興協会・5年間指定管理料

9億4900万円(年1億8900万円)

(私の議案質疑あり—右ページ参照)



#### ○筑西市立図書館の指定管理者が決定

・図書館流通センター・常総ビル整備共同企業体

令和6年度から5年間の指定管理料

9億500万円

(年1億8000万円)

\*\*\*\*\*



#### ◎補正予算・約3億円が可決(全予算は471億円となる)

・道の駅拡張整備・設計費用——3600万円(令和5年度分)

(私の議案質疑あり—裏面:議案質疑を参照)

・玉戸一本松線整備事業(継続)—7600万円(本年度追加分)

#### —議案質疑:あけの元気館の指定管理契約について—

小島質問:指定管理制になり3回目の契約。この制度にメリットがあったかどうかを確認しておくことは重要。市が直接管理経営していた時期の平成25年と、指定管理者が管理をして5年たった平成30年のデータ、まず施設の利用者数の比較をしたい。

保健福祉部長:平成25年度においては、年間利用者数は、26万6,490人、指定管理導入後の5年目の平成30年度の利用者数は、28万1,904人です。増加しています。

小島質問:この施設は、営業努力によって収益が上がる施設。図書館とは違います。道の駅と同じです。管理者が自ら営業努力をすれば利益も上がり、結果として指定管理料を安くできる。そのような競争性の担保についてはどうですか。

保健福祉部長:今後の指定管理の公募に当たりましては、競争性を担保するため、公募時に公表する実績をより詳細なものとするなどの工夫をしてみたいと考えております。

## 議案質疑

### ——道の駅拡張整備計画について——

小島質問：今回の補正予算に設計委託料 3600 万円が計上されている。実際の工事総額は約 25 億円と推計されるとの説明。私の予想を大きく超えていた。工事はこのとおりに進めるのか。

土木部長：今後基本計画の完成に向けパブリックコメントを実施し市民や議員の意見等を踏まえ最終調整を行う予定。



小島質問：既存の施設との一体性は保たれているのか。

現在の計画では大排水路と道路で分断されている。

土木部長：既存道の駅とつなぐ

幅 12 メートルの橋を架ける計画。さらに既存地の南部からも往来できる設計。このことで、一体性を確保するものとする。

小島質問：盛土の費用は約 3 億 1,000 万円。駐車場と遊具にこれほどの巨費を投じて盛土する必要があるのか。

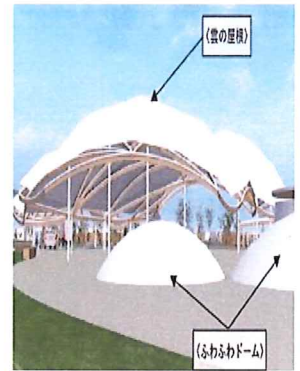
土木部長：盛土量は、あくまで基本計画の段階での数量。今後、実施設計においては筑西市洪水ハザードマップを十分参照しながら

ら精査する。また、現時点では造成に必要な土を全て購入土として算出しており、今後、関係各所と連携しながら建設発生土を確保していくことで費用の削減を図る。

小島質問：もう 1 つの疑問、別敷地ではなく既存施設の中に新たな遊具を設置するプランも考えてみてはどうか。既存施設を精査して、利用の少ない施設・スペースの見直しも必要ではないか。

土木部長：既存道の駅の屋外スペースにおいては、週末を中心に混雑し、新たに大型遊具を設置すると接触事故等の危険がある。余裕を持った配置ができるよう、拡張予定地への設置を計画している。

25 億もの金額であれば道の駅拡張より優先すべき投資がある。例えば若者向け宅地のインフラ投資、企業のための工業団地造成、観光資源の整備、波山記念館の改修。今後も精査し市民が納得できるような金額規模に練り上げていただきたい。



## 一般質問

### ——明野五葉学園 周辺の人口対策——

小島質問：明野五葉学園は最先端の教育施設、これを教育施設としてだけ考えるのではなく筑西市の人口対策の資源と考えたい。周辺の公共施設はイル・プリランテ、あけの元気館、図書館、武道館、老人福祉センター等々、民間施設はコンビニエンスストア、また海老ヶ島地区のスーパー。この周辺は人口増加に大変有利な場所である。住宅地の拡大につながる開発が望まれるが計画はあるのか。

企画部長：開発に関する具体的な計画はございません。

小島質問：つくば市に近い、現実的にこれだけの公共施設がある、そして超近代的な五葉学園が建つ。つまりこの地域は若者人口増加の可能性がある。ですが



ま 1 つ吸引力が足りない。それは住宅地、インフラ、つまり道路、水道、排水が不足している。行政の力で整備できないか。

企画部長：ただいまのいただきましたお言葉でございます。この場でなかなかはっきりしたお答えができなくて大変恐縮でございますが、ただいまのお言葉も重く受け止めまして、今後の検討課題とさせていただきますと存じます。

### ——北中学校跡地の利活用——

小島質問： サウンディング型市場調査を行ったという記載がある。これは対象物の市場性、ニーズを把握するための民間事業者による提案型調査報告。サウンディングの提案をもとに公募は進んでいるのか。

教育部長：事業提案型の一般公募というものを 11 月 22 日から開始をしています。

小島質問：この地は調整区域。

サウンディングではコワーキングスペース、スタートアップ企業向けの貸出し、それから宿泊機能やスポーツスクール等の事業展開を提案しているが、都市計画法上の足かせがある。



外国人に日本語を教える、あるいは日本の技術を教える学校法人が適していると思う。今後労働力確保のため外国人を教育する事業というのは必要になる。さらに、日本人シニアに向けたリスキリングも可能であればよい。

教育部長：議員おっしゃるように、学校法人等が今回の応募に入ってくることを想定している。いずれにいたしましても、応募していただき、審査をさせていただく。